

狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

1 ジャンル

小学校6年生

社会

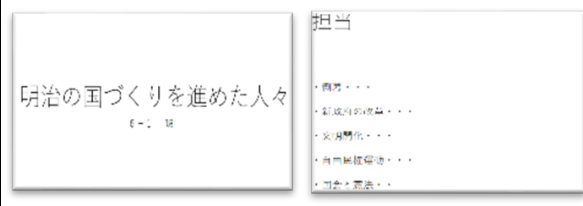
C3 協働制作

児童生徒

2 概要

Microsoft Teams上に、学級のグループ分、Power Pointのファイルを用意。
そのPower Pointを共同編集し、グループでひとつのプレゼン資料を作る。
できあがった資料をグループ内で、担当場所ごとに発表し合い、単元の学習の教え合いを図る。

配布したスライドは2枚。以下の通りである。



本時のめあて

明治の国づくりについて、わかったことをプレゼンしよう。

本時の展開の概要

一通り学習をした後、小單元ごとに担当を決め、グループ全員で単元を通したパワーポイント資料を作成する。
2時間…一斉授業
2時間…資料作成
1時間…プレゼンテーション
1時間…プレゼン資料を見ながらノートまとめ

ICT機器の活用でねらった効果

- ・共同編集の方法を学ぶ。
- ・必要な情報を精選し、相手により分かりやすく伝えるように情報を再統合する能力の育成。
- ・プレゼンテーションソフトを使った表現力の育成。

単元(題材)名

明治の国づくりを進めた人々

単元(題材)目標

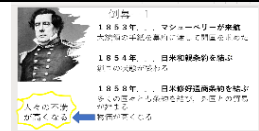
写真やグラフ、地図などの資料から明治維新では、だれがどのように世の中のしくみを変えていったのかを考え、プレゼン資料としてまとめる。

活用したICT機器、アプリケーション等

GiGA端末、Microsoft Teams、Power Point

写真・記録

児童の作成資料の一部⇒



資料作成の様子



プレゼンテーションの様子



児童生徒の様子(成果や課題)

○プレゼン資料の性質(アニメーション機能を使って、情報を小出しにする)上、歴史の流れ(ストーリー性)を重視する児童が多かったように感じた。
○同市の中学校3年生の授業を拝見しての取り組みであったが、小学校段階でプレゼン資料作りにある程度慣れていれば、作製も2時間程度できそうである。
○プレゼン資料については、SKY MENUの発表ノートやシンプルプレゼンを経験していたので、割とすっきりしたスライドを作れる児童が多かった。

△パワーポイントの仕様のデザイナーズ機能について、教師側の知識が足りなかった。共同編集をしていると、1人のデザインの変更で、他の児童のスライドもデザイン変更される事案が何度もあった。

△プレゼンテーションの場は改善の余地がある。

狭山市立柏原小学校 名前: